

国緑 7 第 262 号
令和 7 年 11 月 28 日

関係各位

公益社団法人国土緑化推進機構
理事長 濱田 純一

令和 7 年度緑の少年団指導者研修交流会（開催概要）

～野外活動・自然体験活動時の安全管理、日本版 DBS、森林 ESD、
持続可能な活動のための情報交換・経験共有～

公益社団法人国土緑化推進機構（東京都千代田区平河町 2-7 砂防会館内、代表者 理事長 濱田純一）は、緑の少年団指導者や学校教諭、NPO 職員などを対象とした「令和 7 年度 緑の少年団指導者研修交流会」を、令和 7 年 11 月 29 日(土)～30 日(日)に大阪府（大阪市立長居ユースホステル）、同年 12 月 6 日(土)～7 日(日)に東京都（国立オリンピック記念青少年総合センター）の 2 会場で開催します。

本研修会は、専門家による野外活動の安全管理、日本版 DBS、森林 ESD など、青少年育成と自然体験活動の現場で求められる実務的な知識の普及と、関係者間の情報交換・経験共有を目的としており、参加費無料で実施します。

1. この会合を開催する背景

近年、子どもたちの心身の健やかな成長における自然体験活動の重要性が再認識される一方で、活動を支える指導者の確保や運営の継続性、そして安全管理の高度化が課題となっています。

特に野外活動・自然体験活動の実施時には、怪我や事故のリスクを回避することが必須で、事例研究は欠かせません。また、2026 年度から導入が予定されている「日本版 DBS（こども関連業務従事者の性犯罪歴等確認の仕組み）」への対応は、青少年育成団体にとって喫緊の課題となっています。

また、学校教育の現場では、「森林環境教育」や「ESD（持続可能な開発のための教育）」への関心が高まっており、緑の少年団の活動と学校教育との連携が一層求められています。

このような背景から、当機構では、緑の少年団の指導者をはじめ、学校教諭、NPO 職員など、地域で子どもたちの自然体験活動を支える方々を対象に、実践的なノウハウを学び、参加者同士が交流できる場として本研修交流会を企画しました。

2. この会合の特徴

1) 現場の実務に即した研修目的

運営実務に直結するリスクマネジメント、活動の継続性に不可欠な基本的なテーマの捉え方と実践例の共有、具体的な活動プログラムの提案、個別の活動事例研究まで、4つのテーマを軸に研修を行います。

2) 「日本版 DBS」など最新のリスクマネジメントを学ぶ

NPO 法人国際自然大学の佐藤繁一氏を講師に迎え、野外活動におけるリスクマネジメントに加え、導入が迫る「日本版 DBS」の制度と仕組み、青少年育成団体における倫理規定の整備方針について、専門的な知見を学びます。

3) 「森林 ESD」の可能性と実践例

淑徳大学の板倉浩幸教授より、学校教育に連携可能な「森林 ESD」の考え方、森林環境教育の最前線、地域学習支援の具体的な手法について講義いただきます。

4) 屋内活動の一工夫

ワークショップでは、雨天時や猛暑時にも活用できる「森育・木育分野の遊戯性教材」の実例を紹介し、読書や読み聞かせ活動でも活用できる外部資金の調達ノウハウについて、専門家と一緒に体験します。

5) 学習活動の展開

「実施しておしまい」の日頃の少年団活動を、如何にして「主体的・対話的で深い学び」に繋げていくか、団員の学習活動に対する意欲の引出し方を、先進的で息の長い活動を継続している指導者たちに経験共有してもらい、参加者同士の個別事例へ落とし込み、自由に意見交換します。大阪会場では学校団、東京会場では地域団の事例を取扱います。

6) 講師等プロフィール（各回共通）

<モデレータ兼講師>

・佐藤繁一（NPO 法人国際自然大学）：講義分野は、リスクマネジメント、今日の青少年教育活動について。東京都生まれ。東洋工学専門学校において、フィールドインストラクター・専任講師として自然環境保護保全系人材養成にかかわる。2003 年より国際自然大学へ。子供から大人までを対象としたアドベンチャー教育や環境教育、アウトドアクッキングなどのプログラムをプロデュース。企業や青少年教育団体向けに、自然体験活動の安全管理についての講

演活動などを行っている。NPO 法人東京都キャンプ協会理事、NPO 法人川に学ぶ体験活動推進協議会理事。

< 講師 >

・板倉浩幸（淑徳大学）：神奈川県生まれ、ドイツでの 3 年間の活動後、20 年ほど前から神奈川県相模原市と長野県富士見町の 2 拠点生活にて、小学校教諭と平行し野外自然体験の指導、企画、指導者育成を行ってきた。東京農工大学大学院博士課程を経て、2023 年より現職。専門は森林 ESD、学校教育と社会教育の共同、学校教育と体験活動、パッケージプログラムの活用、小規模醤油造り、など。

< モデレータ >

・杉野卓也（公益社団法人大日本山林会参事・東京農業大学非常勤講師）：東京農業大学の「多摩川源流大学プロジェクト」において学生実習の企画・運営・実習指導を担当。学生に農林業および地域づくりへの関わり方に対する指導それに伴う教材づくりを行う（当該プログラムは 2022 年終了）。東京農業大学のアンテナショップ店長を経験後、2024 年より現職、山林会誌「山林」の編集業務を担当。

3. 開催概要

< 大阪会場 >

- 日時：令和 7 年 11 月 29 日(土) 12:30 ～ 30 日(日) 11:45
- 場所：大阪市立長居ユースホステル（大阪府大阪市東住吉区長居公園 1-1）
- 事例発表：ビオトープ設置と学校林活動への展開について: 活動場所の確保と学習活動の継続（一般社団法人グループ 2000 理事長 横田耕明氏）

< 東京会場 >

- 日時：令和 7 年 12 月 6 日(土) 12:30 ～ 7 日(日) 11:45
- 場所：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区代々木神園町 3-1）
- 事例発表：緑の少年団の地域清掃活動: 地域貢献活動から学習活動への発展（八王子森林パトロール隊 隊長 川上雅教氏）

< 各回共通 >

- 対象者：
 - 緑の少年団指導者、少年団育成会の関係者
 - 児童生徒の自然体験活動を担当している学校教諭

- 児童生徒の自然体験活動プログラムを実施している NPO 等の職員
- 緑の少年団都道府県連盟及び都道府県緑化推進委員会の実務担当者、都道府県の緑化部局担当者
- 定員： 各回 20 名程度
- 受講料： 無料
 - ※期間中の食費、各種保険料等は自己負担となります。
 - ※宿泊・交通費の詳細は募集要領をご確認ください。
 - ※1泊2日の合宿が基本ですが、通修も可能です。ご相談ください。
- 申込期間： 本日 ～ 11 月 27 日(木)
- 申込方法： 下記 URL の専用フォームよりお申し込みください。



<https://forms.gle/QTkefZr9gJ8D1Np8A>

4) 主催者について

公益社団法人国土緑化推進機構は、国土緑化運動を行う公益法人であり、森林の形成、国土の保護、水資源の維持、さらに生活環境の緑化を果たすことを目的に活動しています。具体的には、全国植樹祭や全国育樹祭の開催、緑の募金、緑の少年団の育成などの活動を通じ、心豊かな国民生活の実現、日本の文化的発展、さらには地球環境の保全に寄与しています。

5) その他、連絡事項

- 1) 申込フォームからデータ送達後、折り返しの受付完了メールをお送りします。開催日1週間前までに詳しい参加案内「参加の手引き」を登録したメールアドレスへ送付いたします。
- 2) 研修会場までの往復交通について、公費出張でない場合に限り、原則公共交通機関の利用による最も経済的な通常の経路及び方法による往復の交通費を算出根拠として、半額を助成します。
- 3) 研修は1泊2日で行います。研修期間中、主催者が指定する施設へ宿泊する場合、経費は主催者が負担します。参加者が個人手配により会場周辺に宿泊することも可能ですが、そ

の場合の経費は、原則として自己負担でお願いします。

- 4) 研修は1泊2日を原則としますが、通修での受講も可能です。申込フォームの設問12へその旨ご記入ください。
- 5) 締切を過ぎての参加希望については、下記【お問い合わせ先】に直接ご連絡ください。但し、宿泊については個人で手配していただく可能性があります。
- 6) 第1日目の夕方に意見交換会を行います。申込フォームに希望を伺う設問があります。当日は、会費(2,500円程度)をご用意ください。
- 7) 前泊・後泊希望者の宿泊は自己負担でお願いします。

【研修交流会全般についてのお問い合わせ先】

公益社団法人国土緑化推進機構 担当：大松（おおまつ）

電話：03-3262-8437 FAX：03-3264-3974

E-mail：shonendan★green.or.jp ★印を@に変えてご連絡ください

【お申し込み・運営に関するお問い合わせ先】

NPO 法人国際自然大学校 担当：小野田（おのだ）

電話：03-3489-6582

E-mail：2022forest★notes.gr.jp ★印を@に変えてご連絡ください

◆タイムスケジュール案（各回共通）

1 日目	時間	内容	進行／講師
	12:30	集合、開会挨拶、 オリエンテーション(参加者自己紹介)	小野田祐太
	13:00～14:30	講習① 野外体験活動におけるリスクマネジメント、日本版 DBS の制度と仕組み、青少年育成団体における倫理規定の整備方針について（仮題）	佐藤繁一
	14:40～16:10	講習② 学校教育と森林 ESD の可能性、森林環境教育、地域学習支援とは（仮題）	板倉浩幸
	16:20～17:20	ワークショップ① 雨天＆猛暑時の緑の少年団活動の提案 （森育・木育遊戯性教材の活用）	杉野卓也
	17:20～17:30	翌日のインフォメーション他	小野田祐太
	17:30～18:00	各自宿泊手続きなど	
	18:00～19:30	意見交換会	佐藤繁一

2 日目	時間	内容	進行／講師
	8:30	集合、オリエンテーション	小野田裕太
	8:40～11:00	ワークショップ② 大阪：ビオトープ設置と学校林活動への展開について：活動場所の確保と学習活動の継続 東京：緑の少年団の地域清掃活動：地域貢献活動から学習活動への発展 緑の少年団事例発表/経験共有	国土緑化推進機構・板倉浩幸・横田耕明・川上雅教
	11:10～11:45	意見統括、まとめ	佐藤繁一
	11:45	解散、撤収	佐藤繁一

以上、敬称略